

入札参加者 各位

7営設第2171号
令和7年11月7日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

N0	図面番号	質 疑	回 答
1	S-009、A-003-1	土工事において、埋戻し及び盛土の種別に、A種、B種の両方に適用印が御座いますが、区分範囲が見当たりません。 A種、B種の範囲詳細を御指示下さい。 また、B種の場合の仮置き場所及び仮置き土量も併せて御指示下さい。	主に美術館本体はA種、アートインフォメーション・ポンプ小屋・外構はB種としております。 B種の仮置き場所については、日本庭園内とします。土量については、入札時積算数量書を参照ください。
2	S-002	地業工事において、捨コンクリートのスラブが、15cm又は18cmと、18cmの両方に適用印が御座いますが、すべて18cmと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
3	S-002・009	鉄筋工事において、圧接完了後の抜取試験に、図S-002では超音波探傷試験のみですが、図S-009では引張試験及び超音波探傷試験の両方と相違します。 図S-002を優先とし、試験は超音波探傷試験のみと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
4	S-006・117	鉄筋工事において、機械式定着の使用箇所にD29以上の鉄筋と指示が御座いますが、適用範囲の詳細が見当たりません。 Y1B通り軸組詳細図より、基礎大梁の主筋D32のみに適用と考えて宜しいでしょうか。	D29以上の鉄筋を使用する柱・梁に適用してください。 なお、利用する機械式定着の認定に応じて利用可能箇所を決定してください。
5	S-002	コンクリート工事において、1階床のコンクリート仕様が見当たりません。 1F立上りより上部と同様に、Fc=24N/mm2 S=18cmと考えて宜しいでしょうか。 また、免震装置上部基礎も同仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答																
6	S-002	コンクリート工事において、高炉セメントB種の使用部位に地下躯体と指示が御座いますが、適用範囲の詳細が見当たりません。 地下躯体の範囲は、基礎部とB1階の免震層下部(EXP. Jより下部)の躯体コンクリートと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。																
7	S-019・020 A-011-1	基礎伏図において、Y1～Y1B/X4～X5通り間の耐圧版符号が見当たりません。 符号はFS35とし、上部B1F床符号はS20Cと考えて宜しいでしょうか。	記載箇所については、PIT不要です。 埋め戻しとしてください。																
8	S-020・048	B1F床伏図において、共通事項に特記無き壁符号はW18の指示が御座いますが、壁断面表が見当たりません。 壁厚さはt=180、配筋は縦筋・横筋共にD13-@200ダブルとし、開口補強筋は縦・横・斜め共にすべて2-D13と考えて宜しいでしょうか。	壁厚さはt=180、配筋は縦筋・横筋共にD13-@200ダブルとし、 開口補強筋は縦・横・斜め共にすべて2-D16としてください。																
9	S-020・032	B1F床伏図において、基礎梁符号が軸組図と一部相違します。 下記の通りと考えて宜しいでしょうか。 <table><tr><td></td><td>伏図</td><td>軸組図</td><td>正</td></tr><tr><td>Y2C/X10～X11</td><td>FG2A</td><td>FG2</td><td>FG2A</td></tr><tr><td>X8/Y1B～Y2C</td><td>FG1</td><td>FG1I</td><td>FG1I</td></tr><tr><td>X10/Y6～Y8</td><td>FG2C</td><td>FG2BC</td><td>FG2C</td></tr></table>		伏図	軸組図	正	Y2C/X10～X11	FG2A	FG2	FG2A	X8/Y1B～Y2C	FG1	FG1I	FG1I	X10/Y6～Y8	FG2C	FG2BC	FG2C	よろしいです。
	伏図	軸組図	正																
Y2C/X10～X11	FG2A	FG2	FG2A																
X8/Y1B～Y2C	FG1	FG1I	FG1I																
X10/Y6～Y8	FG2C	FG2BC	FG2C																
10	S-045	ピットスラブ断面表において、主筋及び配力筋にD19が使用されておりますが、継手は重ね継手と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。																
11	S-020・047	基礎梁断面表において、FG1Jの備考欄にX4通りの指定端が記載されておりますが、B1F床伏図でX4通りのFG1J範囲が見当たりません。 X6通りのY4端～Y6A端と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。																
12	S-046・047・116	基礎梁断面表において、FG2Bのカット長さに<3600>の指示が御座いますが、Y6B通り軸組詳細図では、Lo/4の余長部分の長さがL=3600になっております。 特記事項の< >内の数値はカット長さを示すとは、通常の下端筋端部長さ「Lo/4+15d」を指定長さにするものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 ただし、「Lo/4+15d」が指定長さを超える場合「Lo/4+15d」を優先してください。																

N0	図面番号	質 疑	回 答
13	S-049	RC柱断面表において、C4の主筋合計本数が、記載では18本ですが、断面図では48本と相違します。 断面図を優先とし、48本と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
14	S-049	RC柱断面表において、C5の主筋合計本数が、記載では20本ですが、断面図では12本と相違します。 断面図を優先とし、12本と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
15	S-049	大梁断面表において、G2Aの下端筋本数が、記載では6本ですが、断面図では9本と相違します。 断面図を優先とし、9本(6/3本)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
16	S-049	大梁断面表において、G3のあばら筋本数が、記載では5本ですが、断面図では6本と相違します。 断面図を優先とし、6本と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
17	S-021・052	擁壁断面表において、擁壁下の耐圧版が下部耐震壁と接続されておりますが、免震層伏図では大梁のため、断面図が相違します。 擁壁下耐圧版は大梁と接続するものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
18	S-021・051・052	上記質疑において、擁壁下耐圧版天端と大梁天端にバール差が御座いますが、その場合は大梁上部を耐圧版天端バールまで増打するものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
19	S-052	擁壁断面表において、擁壁土中側に裏込め石が御座いますが、裏込め石下部に止水用の捨コンクリート等は不要と考えて宜しいでしょうか。	捨てコンを配置してください。
20	S-054、A-046-9	スラブ断面表において、S20Dの二重スラブ間に空隙が御座いますが、H=150部分にはスタイロフォームを施すものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
21	S-054	スラブ断面表において、特記事項に鉄骨部分は捨て型枠デッキt=1.6mmとする指示が御座いますが、仕様が見当たりません。 リブ高さはH=75、亜鉛メッキはZ12と考えて宜しいでしょうか。	リブ高さはスパンに応じ、亜鉛メッキはZ12としてください。
22	S-054	デッキプレートにおいて、床段差部分に鉄骨梁が無い場合は、Z金物でデッキを受けるものと考えて宜しいでしょうか。	在来型枠としてください。

N0	図面番号	質 疑	回 答
23	S-055、A-020-9	共用階段1配筋要領において、階段下部にRC壁が御座いますが、直通階段①階段詳細図ではRC壁なしと相違します。 構造図を優先とし、RC壁は必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
24	S-002・056	車路において、耐圧版・擁壁のコンクリート仕様が見当たりません。 仕様は地下1F立ち上がりと同様に、Fc=36N/mm2 S=18cm(高炉セメントB種)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
25	S-056	車路の基礎断面表において、SF1の高さが、記載ではt=300ですが、断面図ではt=500と相違します。 断面図を優先とし、t=500と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
26	S-096	EV吊鉄骨断面表において、ks1、ks2に捨て型枠デッキt=1.6mmが御座いますが、仕様が 見当たりません。 リブ高さはH=75、垂鉛メッキはZ12と考えて宜しいでしょうか。	リブ高さH=100、垂鉛メッキはZ12としてください。
27	S-108・109	合成デッキスラブ標準図において、ひび割れ拡大防止のための留意点(参考)に柱廻り及び大梁上の補強筋の指示が御座いますが、ロフト床部分に各補強筋は不要と考えて宜しい でしょうか。 また、必要な場合は各補強筋の適用範囲を御指示下さい。	よろしいです。
28	S-108・109	合成デッキスラブにおいて、スラブ外端部の流止めの仕様は、PL-2.3と考えて宜しいで しょうか。	よろしいです。
29	A-037-1・4、S-053	特別詳細図_免震エクステンションジョイント(4)において、床EXP. J受け用の擁壁天端からの 片持スラブが御座いますが、EXP. J要領図で配筋図が見当たりません。 配筋は短辺・長辺共にD13-@200ダブル程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
30	S-009	RC部の梁貫通孔において、構造補足特記仕様書(6)に貫通孔数量は参考値とする 指示が御座いますが、見積上は記載数量分を既製品で見込むものと考えて宜しい でしょうか。 また、アートインフォメーションベース棟、ポンプ小屋棟も同様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
31	S-009、A-011-1	RC部の梁貫通孔において、構造補足特記仕様書(6)の美術館棟φ600は人通孔の個所数と考えて宜しいでしょうか。 またその場合、特記仕様書(6)では58箇所ですが、PIT階平面図では60箇所と相違します。 PIT階平面図を優先とし、60箇所と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
32	S-012	上記質疑において、配筋基準図(3) 9.1.(2)補強要領のH形配筋φ600部分に基礎梁符号が記載されておりますが、見積上の人通孔補強要領はH形配筋と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
33	S-014	鉄骨鋼管柱の現場継手部において、エレクションボースの仕様は、G. PL-19、2SP. PL-16、HTB-4-M20程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
34	S-057・116	積層ゴム断面表において、B断面の積層ゴム取合鋼材はPL-A・B・C等のPLによる構成となっておりますが、Y6B通り軸組詳細図では一部鋼管(□-500X500X32)の記載があり相違します。 すべて積層ゴム断面表を優先するものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
35	A-019-39・41	4階平面詳細図において、屋外機置場に鉄骨架台のような図示が御座いますが、仕様・工事区分等の記載が見当たりません。 区分は建築工事とし、H-150X150X7X10、躯体取合部にはモルタルt=30、A. BOLT-4-M16(L=320)程度を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
36	S-065～068	鉄骨梁断面表(1)～(4)において、BHは溶接H鋼を示すと御座いますが、外法一定H形鋼にて適用鋼材の場合には、置き換え可能と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
37	S-066・068・081	梁ハチ部のリブプレートにおいて、その他の鉄骨部材(2)に記載の仕様と鉄骨梁断面表(2)・(4)で一部相違します。 すべてその他の鉄骨部材(2)を優先するものと考えて宜しいでしょうか。	鉄骨梁断面表を正としてください。
38	S-022～044	各鉄骨部材において、全長12mを超える場合には運搬等を考慮し、積算上継手を設けるものと考えて宜しいでしょうか。 (下記に示す部分は一部参考範囲) ＜1階床伏図Y7A通り(SG100A)、2階床伏図X5通り(SG85)、X6通り(SG85A)、X7通り(SG85B) 3階床伏図X7A通り (SG85)＞	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
39	S-022～030・065	鉄骨断面表(1)において、各階伏図よりピン接合の記載がある梁で、一部ピン接合仕様が 見当たらない部材が御座いますが、下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・SG45Aのピン接合の仕様はSG45に倣う ・SG50Aのピン接合の仕様はSG50に倣う	よろしいです。
40	S-073	鉄骨ブレース断面表(2)において、sV4 HTBの数量がリストでは24X2と記載されておりますが、 断面では30X2と相違します。 断面を優先とし、30X2本と考えるて宜しいでしょうか。	よろしいです。
41	S-074	鉄骨ブレース断面表(3)において、V10継手仕様がリスト(下段記載)と断面に記載ある仕様が 相違します。 断面記載の継手仕様を優先と考えるて宜しいでしょうか。	リスト記載の継ぎ手仕様を優先としてください。 フランジ 2SPL-9x200x410 4SPL-9x80x410 HTB24-M20 ウェブ 2SPL-6x140x350 HTB 8-M20
42	S-080、A-089-5	その他鉄骨部材(1)において、トッライト受け鉄骨がアーバンスリットの各トッライトに適用し配置 は意匠図によると記載されておりますが、雑詳細図_部分詳細図(5)より設置間隔は@1500 と考えるて宜しいでしょうか。	よろしいです。
43	S-080、A-034-1、 089-5	その他鉄骨部材(1)において、トッライト受け鉄骨 短手がアーバンスリットの各トッライトに適用 し配置は意匠図によると記載されておりますが、各図面にて溝形鋼の図示が見当たり ません。 溝形鋼の設置間隔は@3000程度と考えるて宜しいでしょうか。	トッライト割と合わせてください。
44	S-082	2階木庇要領において、RCスラブ下取付G. PL のスラブ面B. PLの寸法が見当たりません。 B. PL-12X230X230程度と考えるて宜しいでしょうか。	B. PL-16X230X230程度と考えるてください。
45	S-088	鉄骨庇要領(6)において、I 断面 BH-310～250X300X6X19端部 本体梁取合部の仕口仕様が 記載されておりますせん。 ピン接合部:GPL-6 HTB-2-M16と考えるて宜しいでしょうか。	GPL6 HTB4-M20としてください。
46	S-088	鉄骨庇要領(6)において、I 断面 庇中央部分に溶接符号が図示されておりますが、 加工及び運搬等の影響を考慮し、現場溶接(現場継手)と考えるて宜しいでしょうか。	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
47	S-090	ガラス庇要項(2)において、SCG25 継手部ウェブ面のボルト仕様が記載されておりません。 HTB-4-M20と考えて宜しいでしょうか。	HTB 2x4-M20としてください。
48	S-022・095	EV3吊鉄骨において、1Fレベルの小梁符号が1階床伏図と相違する範囲が御座います。 小梁仕様はEV3吊鉄骨優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
49	S-109	合成デッキスラブ詳細図において、柱廻りデッキ受材の仕様は、FB-65X6程度と考えて 宜しいでしょうか。	よろしいです。
50	S-110	3階床マシン受け小梁梁配置図において、2Fポンパ庫設備架台 2FL+2450伏図 にて水平ブレースが図示されておりますが、V20と同仕様のブレースと考えて宜しい でしょうか。	よろしいです。
51	S-110	3階床マシン受け小梁梁配置図において、2Fポンパ庫設備架台 2F床伏図 B-B' 通り にV20と記載されておりますが、B-B' 軸組図には見当たりません。 2F床伏図優先とし、B-B' 通りにV20は必要と考えて宜しいでしょうか。	軸組図を正とし、V20は不要としてください。
52	S-098・103・105～ 107・A-020-1～8・ 18・20	鉄骨階段において、下記に示す範囲の階段仕様が構造図と意匠図で相違します。 すべて構造図優先と考えて宜しいでしょうか。 ・X4～X5/Y4A～Y5/ 構造図(S-098) バックヤード階段② サラ桁:PL-16X300 意匠図(A-020-18) 避難階段② サラ桁:FB-15X50 ・X12～X12' /Y5～Y6B/ 構造図(S-103) 非常用階段③ W=1400 意匠図(A-020-12) 直通階段③ W=1250 ・X6～X7/Y5～Y6A/ 構造図(S-105) コレクション展示室階段① サラ:32X55 意匠図(A-020-1～3) 〃 サラ:32X60 ・X6～X8/Y4～Y4A/ 構造図(S-106) メディアボート階段 W=2050・2600 意匠図(A-020-4～6) 〃 W=2000・2300 ・X5～X6/Y2～Y3/ 構造図(S-107) 特別展示室階段 W=1500 意匠図(A-020-7・8) 〃 W=1400	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
53	A-89-8	雑工事範囲図_部分詳細図(8)において、階段ルーバー取付用に横胴縁:L-75X75X9 @600程度が取付くと考えて宜しいでしょうか。	S-099 sB1 sB2にてルーバー取り付けとし、横胴縁は流さないものとします。
54	A-089～11	雑詳細図_部分詳細図(11)において、側面ALPLの下地に角型鋼管が図示されておりますが、□-100X50X2.3(STKR400)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
55	A-089～11～13	雑詳細図_部分詳細図(11)～(13)において、室外機架台 躯体取合部にSUS PLt9 溶融亜鉛メッキリン酸処理と記載されておりますが、ステンレス面に溶融亜鉛メッキリン酸処理は一般的ではないため、スチールPLと読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
56	A-089～11～13	雑詳細図_部分詳細図(11)～(13)において、室外機架台 躯体取合部にアンカーボルトと記載されておりますが、図面形状より後施工アンカーM16と読替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
57	A-089-14	雑詳細図_部分詳細図(14)において、柱H-100X100の脚部躯体取合詳細は、B. PL-16X150X150(モルタルt=30) A. BOLT-2-M16(L=320)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
58	A-003-1・4	見本施工において、特記仕様書(1)の1. 18. 施工の検査等で展示室天井リブの記載があり、※24. 2を参照となっておりますが、特記仕様書(4)の24. 2モックアップ 施工には展示室天井リブについての記載が見受けられません。 展示室天井リブの見本施工は適用無しと考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は適用範囲等詳細を御指示下さい。	展示室天井リブのモックアップを製作してください。 仕様は下記の通りです。 工事種目：コレクション展示室②展示室天井リブ 材料構法：アルミ指定色ウレタン樹脂焼付塗装、アルミパネルカバー 数量：2m角 施工箇所：天井 施工時期：外装木ルーバー確定時
59	A-018-1～9、S-054	矩計図(1)～(9)において、天井の仕上げにて”打ち込み”もしくは構造用合板が直張りされている範囲が御座いますが構造図ではFデッキ型枠となります。 天井の仕上げにて”打ち込み”もしくは構造用合板が直張り等についてはどの様に考えればよろしいでしょうか。	構造図を正とします。
60	A-003-2	特記仕様書(2)において、9 防水工事 1. アスファルト防水にて乾式保護材に○印が図示されておりますが適用範囲が確認できません。 詳細を御指示下さい。	適用無しとします。

N0	図面番号	質 疑	回 答
61	A-003-2	特記仕様書(2)において、13 屋根及びとい工事 4. といにてステンス鋼管 φ100と 図示されておりますが仕上げ及び取付方法が記載されております。 HL クリア塗装 バントレス仕様 程度と考えて宜しいでしょうか。	適用無しとします
62	A-003-2	特記仕様書(2)において、14 金属工事 4. 軽量鉄骨天井下地にて屋外 ※25形と図示されておりますが耐風圧について記載されております。 耐風圧 2000Pa/m2程度を適用すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
63	A-003-2、008-1	特記仕様書(2)において、14 金属工事 10 その他にて外部鉄部は溶融亜鉛メッキの 上塗装を行うで○図示と記載されておりますが適用範囲が確認できません。 適用範囲を御指示下さい。 屋外の鉄部は、特記なき限りZP:溶融亜鉛メッキ リン酸処理と考えて宜しいでしょうか。	屋外設備置き場、ガラス庇部、屋外階段部に適用としてください。 特記なき限りZP:溶融亜鉛メッキ リン酸処理と考えてよろしいです。
64	A-003-2	特記仕様書(2)において、15 左官工事 3 仕上塗材仕上げにて薄付け仕上塗材 外装材薄塗材Sと図示されておりますが適用範囲が確認出来ません。 適用範囲及びメーカー・品番等を御指示下さい。	美術館棟に関しては適用無しでよろしいです。 外構に関連し、既存築地塀の補修で左官工事が適用されます。
65	A-003-3	特記仕様書(3)において、19 内装工事 10 ボードにて けい酸カルシウム板 タイプ2無石綿 と図示されておりますが比重が記載されております。 比重は0.8FKと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
66	A-008-1、018-1～ 6、031-1～3	外部仕上表において、底にてフッ素塗装SGL鋼板 t0.4と図示されておりますが矩計図 及び特別詳細図 庇・屋根詳細図ではフッ素塗装がルバリウム鋼板 t0.5とで板厚が相違します。 計図及び特別詳細図 庇・屋根詳細図を優先とし、フッ素塗装がルバリウム鋼板 t0.5と考えて 宜しいでしょうか。	よろしいです。
67	A-008-1、015-5・7	外部仕上表において、軒天にて軒天(バックエリア):ケイカル板t8+FPと図示されておりますが 天井伏図の仕上凡例ではZ:ケイカル板t8+8+AEPとで相違します。 天井伏図の仕上凡例を優先とし、Z:ケイカル板t8+8+AEPと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
68	A-008-1,013-1・2、 A-018-1～9	外部仕上表において、外壁にて垂壁:AL製パネル(指定色フッ素樹脂焼付塗装)と図示されておりますが詳細が記載されておりません。 矩計図(9)に図示されておりますAL t2 曲げパネルと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
69	A-008-1,018-2・4・ 5・6・9	外部仕上表において、アーバンスリット 床 透水性コンクリート舗装 t80と図示されておりますが矩計図(2)(4)ではt100で矩計図(5)(6)(9)ではt80とで相違します。 外部仕上表及び矩計図(5)(6)(9)を優先とし、床 透水性コンクリート舗装 t80と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
70	A-008-1,013-1・2、 018-1～9	外部仕上表において、特記事項にて外壁FP 微弾性吹付塗装と図示されておりますが適用範囲が確認できません。 適用範囲を御指示下さい。 又、メーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	外壁FPの適用箇所は外部RC露出部（立上り等）とします。 参考メーカーは下記の通りです。 SK化研、アイカ工業
71	A-012	屋根伏図において、塩ビ被覆ドレン φ100が1か所の屋根が御座いますがオーバーフローが必要と思われます。 詳細を御指示下さい。	形態上屋根が段になっているので、あふれた分に関しては垂流とします。
72	A-011-5・6、012	屋根伏図において、X11A-13B/Y1-2D 特別展示室③屋根にて排水経路が図示されて おりません。 隣接する特別展示室②屋根の様な排水溝及びドレンは適用無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
73	A-012・018-2	矩計図(2)において、屋外機械置場にて屋根:塩ビシート防水 t1.5【機械固定工法】 +嵌合立平葺 HT-60の二重防水と図示されておりますが屋根伏図では屋外機械置場 にて屋根:塩ビシート防水 t1.5【機械固定工法】のみとで相違します。 屋根伏図を優先とし、屋外機械置場は屋根:塩ビシート防水 t1.5【機械固定工法】と 考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
74	A-018-2・4	矩計図(2)(4)において、3FL 屋上広場にてアスファルト防水の立上りの納まりが明確 ではありません。 砂付ストレッチルフィング 増張 仕上塗料:シルバーコート 程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
75	A-018-2・4・5	矩計図(2)(4)(5)において、1FL アーバンスリットにてアスファルト防水の上部に嵩上げ材と図示されておりますが詳細が記載されておられません。 詳細を御指示下さい。	嵩上げ材中止とします。断面構成は下記の通りとします。 透水性自然石洗出しコンクリート舗装t100 再生クラッシャーランt100 押えコンクリートt80 アスファルト防水 RC直均し
76	A-018-5	矩計図(5)において、Y1A通り1FLにて砂利 t150と図示されておりますが種別が記載されておられません。 詳細を御指示下さい。	L-11（1）砂利敷き（レインガーデン部は別途植栽工事）を参照ください。
77	A-018-7、037-1	矩計図(7)において、X1通り1FLにてエキスパンションスリットと図示されておりますが特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)では②床EXP. J:モルタルシップタイプ とで相違します。 特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)を優先とし、②床EXP. J:モルタルシップタイプ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
78	A-019-12	1階平面詳細図(3)において、バックヤードにてトラックヤード/県民ギャラリーの出入口の床の仕上げが記載されておられません。 詳細を御指示下さい。	合金骨材配合強靱床仕上げとします。
79	A-019-12	1階平面詳細図(3)において、バックヤードにて小階段が図示されておりますが詳細が記載されておられません。 詳細を御指示下さい。	A-064_雑詳細図_バックヤードスロープ 参照
80	A-019-12、S-055	1階平面詳細図(3)において、バックヤードにてスロープ が図示されておりますが詳細が記載されておられません。 詳細を御指示下さい。	同上
81	A-019-12	1階平面詳細図(3)において、バックヤードにて点字鋲が図示されておりますがメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	SUS製+ノンスリップ加工（レモンイエロー） 参考メーカー：第一機材、ナカ工業、ユニオン
82	A-019-39	4階平面詳細図(2)において、屋外機置場にてX4/Y6A-6Bにて実線で図示されておりますが詳細が記載されておられません。 設備基礎 1800×5300×600 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
83	A-019-39	4階平面詳細図(2)において、屋外機置場にてX6-7/Y6Aにて設備基礎が図示されておりますが寸法が記載されておりません。 400×1050×600 ×5と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
84	A-019-41	4階平面詳細図(4)において、屋外機置場にてY2A-2B/X2Aにて実線で図示されておりますが詳細が記載されておりません。 設備基礎 1000×3400×500と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
85	A-019-41	4階平面詳細図(4)において、屋外機置場にてX2-2A/Y2Bにて設備基礎が図示されておりますが寸法が記載されておりません。 400×1000×500 ×3と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
86	A-019-39・41	4階平面詳細図(2)及び(4)において、設備基礎が図示されておりますが仕上げが記載されておりません。 ウレタン系塗膜防水 X-2と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
87	A-019-39・41、S-055	4階平面詳細図(2)及び(4)において、設備基礎が図示されておりますが基礎形状が明確ではありません。 4階平面詳細図(4)の発電機基礎及び燃料貯蔵庫基礎のみがアコ付の様な図示ですが全てアコ付(130×180程度)のゲタ基礎と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
88	A-008-1,020-13～16	屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)において、ルバー・スクリーン:AL-10(40)×200 @2400 電解二次着色と図示されておりますが、外部仕上表では目隠しルバー(屋外外部階段):AL製ルバー(指定色フッ素樹脂焼付塗装)d200 @300とで相違します。 屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)を優先とし、ルバー・スクリーン:AL-10(40)×200 @2400 電解二次着色と考えて宜しいでしょうか。 又、ルバー・スクリーン:AL-10(40)×200 @2400 電解二次着色のメーカー・品番等が御座いましたら合せて御指示下さい。	ルバー・スクリーンのピッチ及び仕様は特殊粉黛塗装d200 @240としてください。 参考メーカーは以下の通りです。 小松物産
89	A-020-13～16	屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)において、1FLのルバー・スクリーンの詳細が各図で相違します。 ・階段詳細図(1)・・・ルバー・スクリーン:AL-8(30)×100+特殊粉体塗装 ・階段詳細図(3)・・・ルバー・スクリーン:AL-8(30)×130 @240+特殊粉体塗装 ・階段詳細図(4)・・・ルバー・スクリーン:AL-8(30)×100 @130+特殊粉体塗装 階段詳細図(4)を優先とし、ルバー・スクリーン:AL-8(30)×100 @130+特殊粉体塗装と考えて宜しいでしょうか。 又、AL-8(30)×100 @130+特殊粉体塗装のメーカー・品番等が御座いましたら合せて御指示下さい。	同上

N0	図面番号	質 疑	回 答
90	A-020-13～16	屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)において、点字鋳(警告)SUSノンスリップ 加工と図示されておりますがメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	SUS製+ノンスリップ加工 (レモンイエロー) 参考メーカー：第一機材、ナカ工業、ユニオン
91	A-008-1、020-13～16	屋外避難階段 階段詳細図(3)において、手摺:St FB-50×12+ZPと図示されておりますが、外部仕上表では手摺:St FB t9 溶融亜鉛メッキ リン酸処理とで相違します。 屋外避難階段 階段詳細図(3)を優先とし、手摺:St FB-50×12+ZPと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
92	A-023-1	特別詳細図 屋上テラス詳細図(1)において、X12-12A/Y4通りのFL=3FL+750までの階段及び踊り場に手摺の様な図示が御座いますが詳細が記載されていません。 手摺:PL-12 FB t12×65 @1400 溶融亜鉛メッキ リン酸処理 強化合わせガラス t10+10mmと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
93	A-013-1・2、023-1	特別詳細図 屋上テラス詳細図(1)において、X12-12A/Y4通りのFL=3FL+750までの階段及び踊り場と屋上広場A GL+12,000と屋上広場B GL+14,250との段差GL+2,500に側壁が必要となりますが立面図(1)(2)でも詳細が記載されていません。 詳細を御指示下さい。	ALカットパネル t3.0 指定色フッ素焼付塗装とします。
94	A-023-1	特別詳細図 屋上テラス詳細図(1)において、デッキ面に点字鋳(警告)SUSノンスリップ 加工と図示されておりますがメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	SUS製+ノンスリップ加工 (レモンイエロー) 参考メーカー：第一機材、ナカ工業、ユニオン
95	A-031-3	特別詳細図 庇・屋根詳細図(3)において、軒天:硬質木毛セメント板の上部に母屋と同様に下地材が図示されておりますが詳細が記載されていません。 詳細を御指示下さい。	ST角パイプ 75×45×t2.3とします。
96	A-003-2、031-4	特別詳細図 庇・屋根詳細図(4)において、屋根:塩ビシート防水 t1.5【機械固定工法】断熱材 t50(65)が図示されておりますが特記仕様書(2) 9. 防水工事ではOS-F1の非断熱とで相違します。 特別詳細図庇・屋根詳細図(4)を優先とし、屋根:塩ビシート防水 t1.5【機械固定工法】断熱材 t50(65)と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
97	図A-013-1・2、032-1～5	特別詳細図 外壁PCパネル(1)～(5)において、各部の詳細が図示されておりますがパネル割付が明確ではありません。 パネルの割付について詳細を御指示下さい。	別添のA-013-1、A-013-2 立面図を参照ください。
98	図A-008-1、033-1・2	特別詳細図 ガラス庇(1)(2)において、高透過強化合わせガラス t=12+SGP+12と図示されておりますが外部仕上表 屋根 ガラス庇ではPT10+PT10とで相違します。 特別詳細図 ガラス庇(1)(2)を優先とし、高透過強化合わせガラス t=12+SGP+12と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

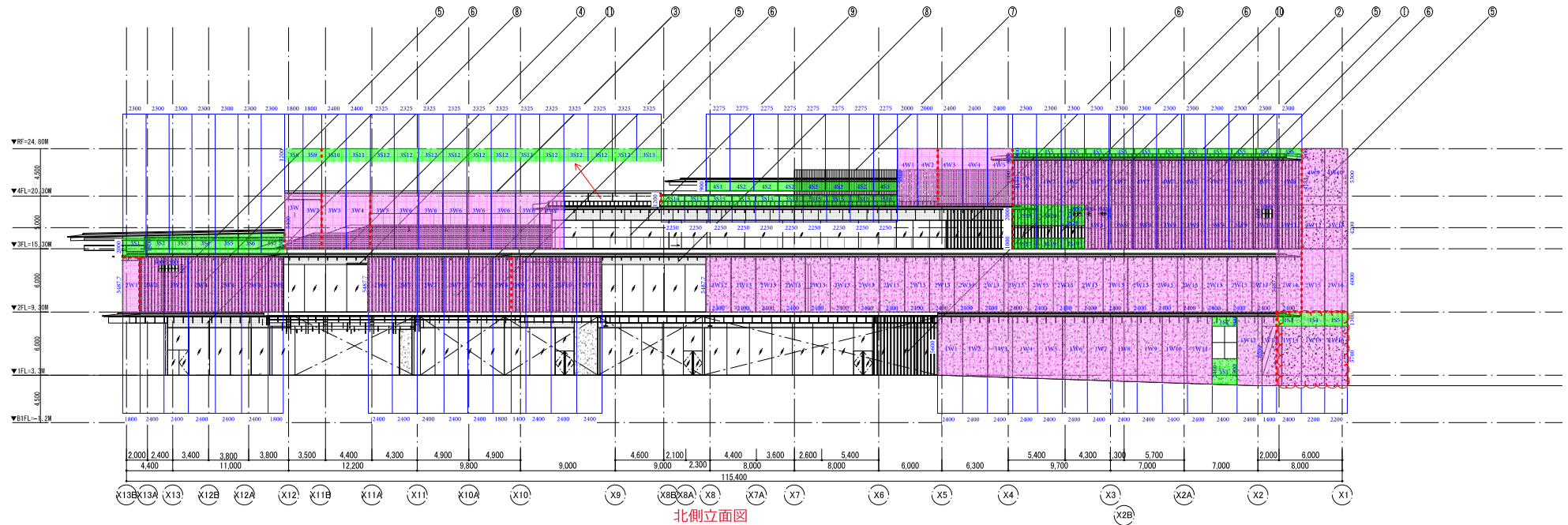
N0	図面番号	質 疑	回 答
99	A-008-1、037-1・4	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)において、①～③ 床EXP. Jにて仕上げに半たわみ舗装と図示されておりますが外部仕上表 外構 EXP. J(歩道部)では透水性コンクリート舗装 t80とで相違します。 外部仕上表 外構 EXP. J(歩道部)を優先とし、透水性コンクリート舗装とし厚みは特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(4)によりt50と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
100	A-011-3、019-11・12、037-1	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)において、② 床EXP. Jの範囲にてX1通りに24680と図示されておりますが平面図及び平面詳細図とでは範囲が相違します。 平面図及び平面詳細図を優先とし、20400程度と読み替えて宜しいでしょうか。	A-037 特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)を正とします。
101	A-037-1	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)において、④ 外壁EXP. Jにて位置が図示されておりますが高さの確認できません。 必要となる高さについて御指示下さい。	いずれもh900mmとします。
102	A-011-3、019-18、037-1	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)において、⑬ 床EXP. Jにて範囲がX11より3704まで図示されておりますが平面図及び平面詳細図ではX11より1750程度の外壁と同面までとで相違します。 平面図及び平面詳細図を優先とし、X11より1750程度の外壁と同面までと考えて宜しいでしょうか。	平面詳細図を正とします。
103	A-011-3、018-5、019-18、037-1・4	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(4)において、③ 床EXP. JにてW1370と図示されておりますが、矩計図(5)ではW1685とで相違します。 平面図及び平面詳細図とでは位置及び寸法等の相違が御座います。 矩計図(5)を優先とし、③ 床EXP. JはW1685とし位置も矩計図(5)と同様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
104	A-037-1・4	特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(1)において、⑬～⑮ 床EXP. Jにてカー材質にスリットと図示されておりますが特別詳細図 免震エキスパンションジョイント(8)ではスリットに免震ゴム等の部材が記載されております。 詳細を御指示下さい。	止水ゴムとします。
105	A-023-1・3、089-1	雑詳細図 部分詳細図(1)において、屋上ガラス手摺立面詳細図にて手摺:PL-12 FB t12×65が@1500で図示されておりますが、特別詳細図 屋上ガラス詳細図では@1400とで相違します。 雑詳細図 部分詳細図(1)を優先とし、手摺:PL-12 FB t12×65 @1500と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

N0	図面番号	質 疑	回 答
106	A-089-6	雑詳細図 部分詳細図(6)において、外壁:アルミルーバーにてd200 @300+特殊粉体塗装と図示されておりますがメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	同上
107	A-089-6	雑詳細図 部分詳細図(6)において、外壁:アルミルーバーにてd200 @300+特殊粉体塗装にて上下部に下地及び受材が図示されておりますが詳細が記載されておりません。詳細を御指示下さい。	横胴縁L-75x75x9 ZP @900とします。
108	A-020-13～16、089-9	雑詳細図 部分詳細図(9)において、片開扉:アルミルーバー:15×60 @75 特殊粉黛塗装の適用範囲は雑詳細図 部分詳細図(8) 屋外避難階段の扉と見受けられますが、屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)では親子開:アルミルーバー:AL-8(30)×100 @130+特殊粉体塗装とで相違します。 屋外避難階段 階段詳細図(1)～(4)を優先とし、親子開:アルミルーバー:AL-8(30)×100 @130+特殊粉体塗装と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
109	A-089-11・12	雑詳細図 部分詳細図(11)において、室外機架台:アルミルーバーにて @100(指定色フッ素樹脂焼付塗装)と図示されておりますがメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。	アルミルーバーのピッチ及び仕様は特殊粉黛塗装d200 @300とします。 参考メーカーは以下の通り。 小松物産
110	A-015-68、088-1	雑詳細図 アーバンスリット(1)において、天井伏図(天井面)にてルーバー①～⑤の配置が図示されておりますが天井伏図(6)及び(8)とで配置が相違します。 雑詳細図 アーバンスリット(1)を優先とし、天井伏図(天井面) ルーバー①～⑤の配置と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
111	A-088-3	雑詳細図 アーバンスリット(1)において、パネル①～④にエキスパントメタルと図示されておりますが詳細が記載されておりません。 XG-11 程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
112	A-088-3	雑詳細図 アーバンスリット(1)において、パネル①～④にエキスパントメタルにてパネル①と②にはFUと図示されておりますが③と④はZPと記載されており相違します。 パネル①～④ エキスパントメタルはZPと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

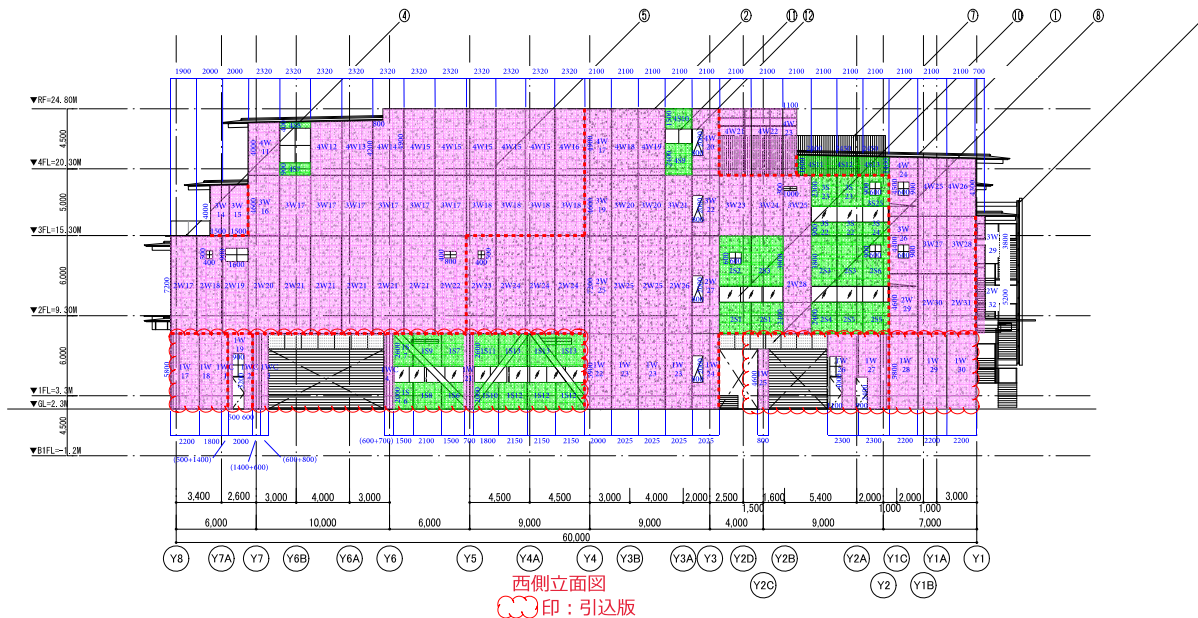
N0	図面番号	質 疑	回 答
113	A-003-3、008-1、018-9、088-3	雑詳細図 アーバンスリット(1)において、天井:打込断熱 t25 FPと図示されておりますが外部仕上表及び矩計図(9)ではAL製金属パネル t2 曲げ加工とで相違します。 雑詳細図 アーバンスリット(1)を優先とし、天井:打込断熱 t25 FPと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
114	A-015-6、088-3	雑詳細図 アーバンスリット(3)において、ルーバー①～③にてAL PL t2 特殊印刷仕上げ H1200・900・600と図示されておりますが天井伏図ではAL PL t3 特殊印刷仕上げ H1200・800・600とで相違します。 雑詳細図 アーバンスリット(3)を優先としルーバー①～③にてAL PL t2 特殊印刷仕上げ H1200・900・600と考えて宜しいでしょうか。	ピッチは詳細図正としますが、厚みはt3.0とします。
115	A-015-6、018-9、088-3	雑詳細図 アーバンスリット(3)において、ルーバー④及び⑤にてSUS PL t3 ミー仕上げと図示されておりますが矩計図(9)では梁(X軸方向):アルミ複合板 t3 ミー仕上とで相違します。 雑詳細図 アーバンスリット(3)を優先としルーバー④及び⑤はSUS PL t3 ミー仕上げと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
116	A-003-1～4、008-1	定礎において、必要の有無が記載されております。 必要の有無及び仕様・詳細等を御指示下さい。	不要とします。
117	A-008-1	屋外の鉄部において、特記なき限りZP:溶融亜鉛メッキ リン酸処理と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
118	-	下記の仕上において、仕様・詳細及びメーカー・品番等が御座いましたら御指示下さい。 ＜屋根＞ アスファルト防水 AI-1 高耐久仕様(耐用年数80年) アスファルト防水 A-2 シート防水 t1.5 リバットルーFSW 内樋:塩ビシート防水 t1.5 リバットルーFSW 塗膜防水 ウレタン系 嵌合立葺 HT-60 庇:差し込みジョイント工法 @420 ＜床＞ RC表面強化剤+2回ボリッシュ・・・車路 天然木デッキ 杉板 t30 ＜壁＞ フッ素クリア塗装 ＜雑＞ 木材保護塗料 シリコン系強撥水半透明高耐候性塗装 外防水:塗膜防水 免震エキスパンションジョイント 防潮板・・・傾斜路	参考メーカーは下記の通りです。 ＜屋根＞ アスファルト防水 AI-1 高耐久仕様(耐用年数80年) /一原産業 アスファルト防水 A-2 /一原産業 シート防水 t1.5 リバットルーFSW /一原産業 内樋:塩ビシート防水 t1.5 リバットルーFSW /一原産業 塗膜防水 ウレタン系 /一原産業 嵌合立葺 HT-60 /一原産業 庇:差し込みジョイント工法 @420 /一原産業 ＜床＞ RC表面強化剤+2回ボリッシュ・・・車路 /セラミキュア シールハード、ジョリエースC 天然木デッキ 杉板 t30 /フランウッド ＜壁＞ フッ素クリア塗装 /SK化研 ＜雑＞ 木材保護塗料 シリコン系強撥水半透明高耐候性塗装 /住友林業、信越シリコーン、オシロックス 外防水:塗膜防水 /SK化研、田島ルーフィング、大建工業 免震エキスパンションジョイント /ABC商会 和田装備 パラキヤップ 防潮板・・・傾斜路 /三和シャッター

NO	図面番号	質 疑	回 答
119	S-064	鉄骨柱断面表(3)において、厚さ(t)40mmを超えるダ イフラム材質は、SC10AではTMCP325(PL-50)と記載が御座いますが、特記事項ではTMCP385Cと相違します。 鉄骨柱断面表(3)を優先とし、厚さ(t)40mmを超えるダ イフラム材質は、すべてTMCP325Cと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
120	S-064	上記質疑において、ダ イフラム材質は通しダ イフラムはSN490C(t>40mmはTMCP325C)、内ダ イフラムの材質はSN490B(t>40mmはTMCP325B)を適用するものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

北側立面図



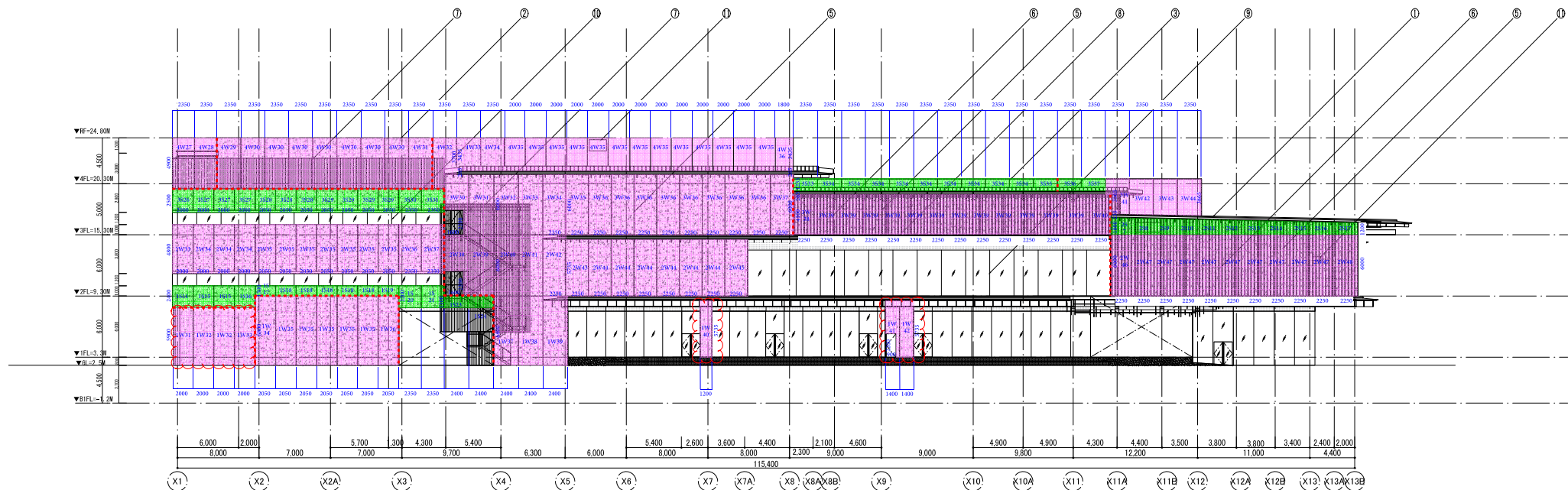
西側立面図



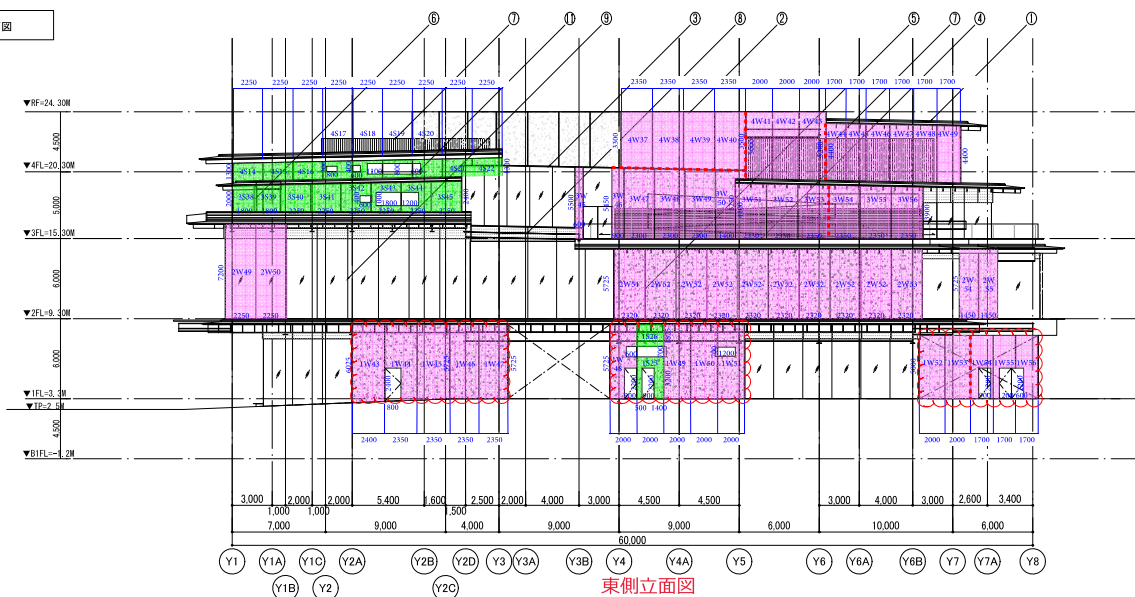
凡例	仕上
①	屋根: 嵌合立平葺HT-60 Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板t0.5
②	屋根(パラペット): RC直均し(スラブ水勾配1/100) アスファルト防水+シート防水
③	屋根(トプライト): AL製サッシ PW10-A12-FL10
④	屋上: RC直均し(スラブ水勾配1/100)アスファルト防水 硬質ウレタンフォーム2種2号At50,保護コンクリートt80, 鋼製床下地+人工木デッキt25
⑤	外壁: PC板 t180 ウォータージェット フッ素クリア塗装
⑥	外壁ルーバー: 押し出し形鋼 ZP カラークリア仕上げd200@300
⑦	目隠しルーバー: アルミルーバー 特殊粉体塗装 d200@300
⑧	垂壁: AL製パネル(指定色フッ素樹脂焼付塗装) w2400
⑨	建具: ST製サッシ (リン酸処理 マットクリア塗装 コマガラス工法) Low-EペアガラスHSt12+A16+HSt12(紫外線カット仕様)
⑩	建具(BOH): AL製サッシ 電解二次着色(特色) Low-EペアガラスFLt8+A12+FLt8(紫外線カット仕様)
⑪	AL縦ガラリ FU
⑫	AL縦すべり窓

福岡県建築都市部営繕設備課
福岡市博多区東公園7番7号設計者
株式会社隈研吾建築都市設計事務所
KENGO KUMA & ASSOCIATES
一級建築士事務所 東京都中央区銀座 第32702号 | 事務所建築士 一級建築士事務所 第31002号 建築家工事名称
新福岡県立美術館新築工事
立面図(1)日付
令和7年3月
【東証証】 第1
A1: 1/200
A3: 1/400
図面番号
A-013-1

南側立面図

南側立面図
印：引込版

東側立面図

東側立面図
印：引込版

凡例	仕上
①	屋根: 嵌合立平葺HT-60 Mg2%添加ガルバリウムカラー鋼板t0.5
②	屋根(パラベット): RC直均し(スラブ水勾配1/100) アスファルト防水+シート防水
③	屋根(トップライト): AL製サッシ PW10-A12-FL10
④	屋上: RC直均し(スラブ水勾配1/100).アスファルト防水.硬質ウレタンフォーム2種2号At50.保護コンクリートt80.鋼製床下地+人工木デッキt25
⑤	外壁: PC板 t180 ウォータージェット フッ素クリア塗装
⑥	外壁ルーバー: 押し出し形鋼 ZP カラークリア仕上げd200@300
⑦	目隠しルーバー: アルミルーバー 特殊粉体塗装 d200@300
⑧	垂壁: AL製パネル(指定色フッ素樹脂焼付塗装) w2400
⑨	建具: ST製サッシ (リン酸処理 マットクリア塗装 コマガラス工法) Low-EペアガラスHSt12+A16+HSt12(紫外線カット仕様)
⑩	建具(BOH): AL製サッシ 電解二次着色(特色) Low-EペアガラスFLt8+A12+FLt8(紫外線カット仕様)
⑪	AL縦ガラリ FU
⑫	AL縦すべり窓

福岡県建築都市部営繕設備課
福岡市博多区東公園7番7号

承認: approved

設計者

株式会社隈研吾建築都市設計事務所
KENGO KUMA & ASSOCIATES

一般建築士事務所 東京事務所登録 第32702号 建築師 一級建築士事務所 第31002号 建築家

工事名称

新福岡県立美術館新築工事

図面名称

立面図(2)

日付

令和7年3月

縮尺

A1: 1/200
A3: 1/400

図面番号

A-013-2